

# 登園許可証 (医師記入)

病名	
----	--

園名	多摩川保育園
園児氏名	
生年月日	年 月 日

集団生活にさしつかえありませんので 月 日より登園を許可します。

医療機関名  
電話番号  
医師名

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。

感染力のある機関に考慮し、子どもの健康回復状態が、集団での保育園生活が可能な状態となつてからの登園であるようご配慮ください。

感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぎ、子どもたちが快適に生活できますよう、ご協力をお願いします。

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
<b>麻疹 (はしか)</b>	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること
<b>インフルエンザ</b>	症状が有る期間 (発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること (乳幼児にあっては、3日経過していること)
<b>風しん</b>	発しん出現の7日前から7日後くらい	発しんが消失していること
<b>水痘 (水ぼうそう)</b>	発しん出現1~2日前から痂皮 (かさぶた) 形成まで	すべての発しんが痂皮 (かさぶた) 化していること
<b>流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)</b>	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	<small>じかせん がっかせん ぜっかせん</small> 耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
<b>結核</b>	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
<small>いんどう</small> <b>咽頭結膜熱 (プール熱)</b>	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
<small>かく</small> <b>流行性角結膜炎</b>	充血、目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
<b>百日咳</b>	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
<b>腸管出血性大腸菌感染症 (O157・O26・O111 等)</b>	—	医師により感染のおそれがないと認められていること。 (無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄習慣が確立している5歳以上の小児については出席停止の必要はなく、また、5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である。)
<b>急性出血性結膜炎</b>	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
<small>ずい</small> <b>侵袭性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)</b>	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
<b>新型コロナウイルス感染症</b>	発症2日前から発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過すること、無症者の場合は、「検体採取日を0日目として、5日を経過すること」

※ 感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については (—) としている。

登 園 届 (保護者記入)

園 名 \_\_\_\_\_ 多摩川保育園  
 園児氏名 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

病名【 \_\_\_\_\_ 】と \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日に診断されましたが  
 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日に医療機関【 \_\_\_\_\_ 】を受診し、症状が回復し  
 集団生活に支障がないと判断されましたので登園いたします。

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 保護者氏名 \_\_\_\_\_

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
<b>溶連菌感染症</b>	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
<b>マイコプラズマ肺炎</b>	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治っていること
<b>手足口病</b>	手足や口腔内に水疱・潰瘍 <small>ほう かいよう</small> が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
<b>伝染性紅斑 (りんご病)</b>	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
<b>ウイルス性胃腸炎</b> ・ノロウイルス ・ロタウイルス ・アデノウイルス等	症状のある間と、症状消滅後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排出している)ので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
<b>ヘルパンギーナ</b>	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程度ウイルスを排出している)ので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
<b>RSウイルス感染症</b>	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
<b>帯状疱疹</b>	水疱を形成している	すべての発しんが痂皮 <small>か</small> (かさぶた)化していること
<b>突発性発しん</b>	—	解熱し期限が良く全身状態が良いこと

※ 感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については(—)としている。